

総合整備計画書

岐阜県白川町蘇原辺地
(辺地の人口 2,278 人 面積 52.9k m²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字

白川町切井 (中の瀬・丑丸・川畑・切井中切・切井本郷・追分・塔洞・鹿折・中央・稲中・石木)

白川町赤河 (上赤河・後山・日向・赤河本郷・小倉・下古野・増田・下赤河・古田)

白川町三川 (下平・山寄・藤井・三川本郷・上田)

(2) 地域の中心の位置 白川町三川字鎌長 1228 番地 1

(3) 辺地度数 111 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

当該地域は、白川町の南東部に位置し東濃地方に隣接している。三方向を標高 900m の山々に囲まれ、山間を流れる赤川に沿った斜面のわずかな平地に集落が散在している。また、当町の中心から辺地の中心まで 4 km、最も遠い集落については 18 km もの距離があり、中心部との標高差は 400m 余りで、地理的、地形的に辺地性が著しい。

農林業については、町の基幹産業として振興を図ってきたが、近年の農林業をとりまく情勢は厳しくなる一方である。しかし中山間地域でもある当該地域では、その地勢から農林業を基盤とする活力ある豊かな地域社会の形成を目指した地域づくりを推進する必要がある、道路整備により通行の安全性を高めるとともに、利便性及び生活環境の改善を図ることが急務となっている。

3 公共的施設の整備計画

令和 4 年度から令和 7 年度まで 4 年間

(単位 千円)

施設名	事業主体名	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地対策事業債の予定額
				特定財源	一般財源	
消防施設	白川町		(9,000) 0	0	0	0
厚生施設	白川町		(14,403) 14,403	0	14,403	14,000
町道	白川町		(73,668) 73,668	12,493	61,175	56,500
林道	白川町		(8,410) 8,410	5,046	3,364	3,000
合計			(105,481) 96,481	17,539	78,942	73,500

※ () 内は全体事業費

当初計画策定 令和 4 年 9 月 12 日

第 1 次変更計画策定 令和 年 月 日

第 2 次変更計画策定 令和 年 月 日

総合整備計画書

岐阜県白川町黒川辺地
(辺地の人口1,673人 面積58.7k㎡)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字

白川町黒川（黒川中切・中之平・鱒淵・中新田・奥新田・柿反上・柿反中・日面下・小畑・下之平・小坂・下新田）

(2) 地域の中心の位置 白川町黒川字中野 1802 番地 7

(3) 辺地度点数 130 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

当該地域は、白川町の東部に位置し東濃地方に隣接している。標高 1000m級の山々に囲まれ、山間を流れる黒川に沿った斜面のわずかな平地に集落が散在している。また、当町の中心から辺地の中心まで 16 km、最も遠い集落については 22km もの距離があり、中心部との標高差は 400 m余りで、地理的、地形的に辺地性が著しい。

茶業や農林業については、町の基幹産業として振興を図ってきたが、近年の農林業をとりまく情勢は厳しくなる一方である。しかし中山間地域でもある当該地域では、その地勢から農林業を基盤とする活力ある豊かな地域社会の形成を目指した地域づくりを推進する必要がある、道路整備により通行の安全性を高めるとともに、利便性及び生活環境の改善を図ることが急務となっている。

3 公共的施設の整備計画

令和 4 年度から令和 7 年度まで 4 年間

(単位 千円)

施設名	事業主体名	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業 債の予定額
				特定財源	一般財源	
町道	白川町		(30,248) 30,248	7,770	22,478	20,000
林道	白川町		(210,000) 51,260	25,630	25,630	24,500
教育施設	白川町		(7,428) 5,428		5,428	2,500
合計			(247,676) 86,936	33,400	53,536	47,000

(注) ()は全体事業費

当初計画策定 令和 4 年 9 月 12 日

第 1 次変更計画策定 令和 年 月 日

第 2 次変更計画策定 令和 年 月 日

総合整備計画書

岐阜県白川町佐見辺地
(辺地の人口 899 人 面積 56.8k m²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字

白川町上佐見 (有本・吉田・大寺・小野)

白川町下佐見 (久室・成山・稲田・薄野・徳田)

(2) 地域の中心の位置 白川町上佐見字下内 2352 番地 2

(3) 辺地度点数 228 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

当該地域は、白川町の北部に位置し飛騨地方に隣接している。三方向を標高 700m から 1100 m の山々に囲まれ、山間を流れる佐見川に沿った斜面のわずかな平地に集落が散在している。また、当町の中心から辺地の中心まで 28 km、最も遠い集落については 35 km もの距離があり、中心部との標高差は 500m 余りで、地理的、地形的に辺地性が著しい。

農林業については、町の基幹産業として振興を図ってきたが、近年の農林業をとりまく情勢は厳しくなる一方である。しかし中山間地域でもある当該地域では、その地勢から農林業を基盤とする活力ある豊かな地域社会の形成を目指した地域づくりを推進する必要がある、道路整備により通行の安全性を高めるとともに、利便性及び生活環境の改善を図ることが急務となっている。

3 公共的施設の整備計画

令和 4 年度から令和 7 年度まで 4 年間

(単位 千円)

施設名	事業主体名	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業 債の予定額
				特定財源	一般財源	
町道	白川町		(52,316) 37,286	16,877	20,409	19,000
林道	白川町		(45,000) 19,800	9,900	9,900	9,500
教育施設	白川町		(11,345) 9,845		9,845	9,800
合計			(108,661) 66,931	26,777	40,154	38,300

※ () 内は全体事業費

当初計画策定 令和 4 年 9 月 12 日

第 1 次変更計画策定 令和 年 月 日

第 2 次変更計画策定 令和 年 月 日